

今年は梅雨が長く、夏と感じる日が少なかったと思います。9月に入り秋を象徴するかのよう
に虫の声が聞こえてきます。私たちも秋晴れのようにすっきりとした気持ちで今年後半頑張り
ましょう！



〔研修報告〕



主任・リーダーナースのためのリーダー研修 平成 21 年 7 月 2・3 日 2 階病棟 岩本 寿美

今回は主任としての役割を学ぶために 2 日間研修に参加しました。

1 日目は角田直枝講師で、看護組織の特徴・リーダーの役割・リーダーシップの育成でした。リー
ダーシップとは「特定の目的を実現するために個人や集団に影響を及ぼすことであり、だれもが経験
する機会はある。そしてリーダーに求められる力とは、問題解決力・対人関係・影響力・自己統制力・
管理能力」であると学びました。

2 日目は久田邦博講師で、コーチングを生かしたマネジメントの実践でした。コーチングの基本的
な考え方として「相手の行動を少し変化させ維持していき、心地よくゴールに連れていく。そのため
には、相手の話を真剣に聴き、相手に興味をもつことが必要である」との事でした。今後は研修で学
んだことを、現場で生かしていけるよう努力していきたいです。

認知障害を伴う高齢者の理解①

平成 21 年 7 月 8 日 3 階病棟 滝田 里美

高齢者は身体機能低下により、ちょっとしたきっかけで重症化しやすく、そこに認知障害を伴えば、
自分の状態を正しく把握できなかつたり、言語障害などで症状を上手く伝えられないことも多い。本
人の訴えをもとに観察力を高め、印象を大切に、客観的に評価して真実の状態を見抜く力が求められ
ている。手術を受ける高齢の患者さんも増え、術後行動異常が見られることも多い。術後せん妄なの
か、認知障害による症状なのか、また状態悪化による行動なのかを早い段階で判断する必要がある。
そして、今までの環境やなじみの環境を整えることでストレスを少なくし、できるだけそばで見守る
ことで症状の変化に早く対応することが大切である。認知症になっても『心は生きている』というこ
とを念頭に置き、本人の感じている世界を理解し受け入れられるよう接していきたい。

摂食・嚥下障害をもつ患者の看護

平成 21 年 8 月 7・8 日 東 4 階病棟 松本 ちはる

当院では、病棟看護師も嚥下リハビリを行なっている。しかし摂食・嚥下に関する知識や技術が少
なく、手順書を片手に施行している。

今回の研修において、疾患・障害の程度によりリハビリの内容が異なること、嚥下リハビリは日常
生活の中に取り入れ、毎日行なうことに意義があることを学んだ。日常生活に取り入れるためには、
患者の日々の状態を把握している病棟看護師が適任だと考える。よって、専門知識のある認定看護師
などに任せるのではなく、病棟看護師も摂食・嚥下について学習し、技術を習得し、患者の日常生活
に嚥下リハビリを取り入れていくことが大切なのだと感じた。そのことが口から食べることにつなが
り、患者の QOL 向上につながるのではと思う。

看護師国家試験合格おめでとう！

全員で合格できてよかったです。努力の成果が出ましたね。これからは患者様の笑顔のため頑張ってください。



新任医師紹介

人当たりがよく、患者様にも、看護師にも
やさしい Dr です。
皆さんも笑顔で声をかけてくださいね。



氏名：竹之内 靖

年齢：43 歳

一言意気込みをどうぞ！

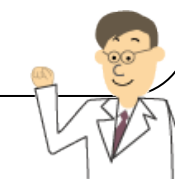
入職から早 1 ヶ月半が過ぎ、職場にも慣
れてきました。自己を主張しすぎずに当
院の良さを活かして、診察・治療にあ
たっていきたいと考えています。
ご指導の程よろしくお願い申し上げま
す

第2回常滑ICLSコース



受講生大募集！

10 月 31 日に第 3 回 ICLS を開
催します。
救急蘇生に興味がある方、イン
ストラクターが優しく指導を
行います。
初めは緊張すると思いますが、
ICLS が終わりに近づくと受講
して「よかった」と
必ず思える内容になっていま
す。ぜひ参加をお待ちしてい
ます。
受講希望者は 9 月 8 日までに
神田師長まで申し込んで下さ
い。



お知らせ

🍷 今月の研修

9 月 7 日	15 時～	特別研修	看護管理研修
9 月 17 日	14 時～	卒 5 年目	臨地実習・指導者研修会
9 月 29 日	16 時～	新人フォローアップ研修	「臨床現場での不安・不足な看護ってなんだろう？」

編集後記

看護だよりを毎月楽しみてもらえるような内容にしたいと試行錯誤で頑張っています。

何かリクエストがあったらいつでも広報委員へお知らせください。

桑山